

## 令和5年度春期 情報処理安全確保支援士試験合格発表 分析コメント

(株) アイテック IT人材教育研究部 2023,6,29

4月16日（日）に行われた令和5年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、情報処理安全確保支援士試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■情報処理安全確保支援士試験（SC）

〔令和5年度春期 情報処理安全確保支援士試験 統計情報〕

|     |          |
|-----|----------|
| 応募者 | 17,265 人 |
| 受験者 | 12,146 人 |
| 合格者 | 2,394 人  |
| 合格率 | 19.7%    |

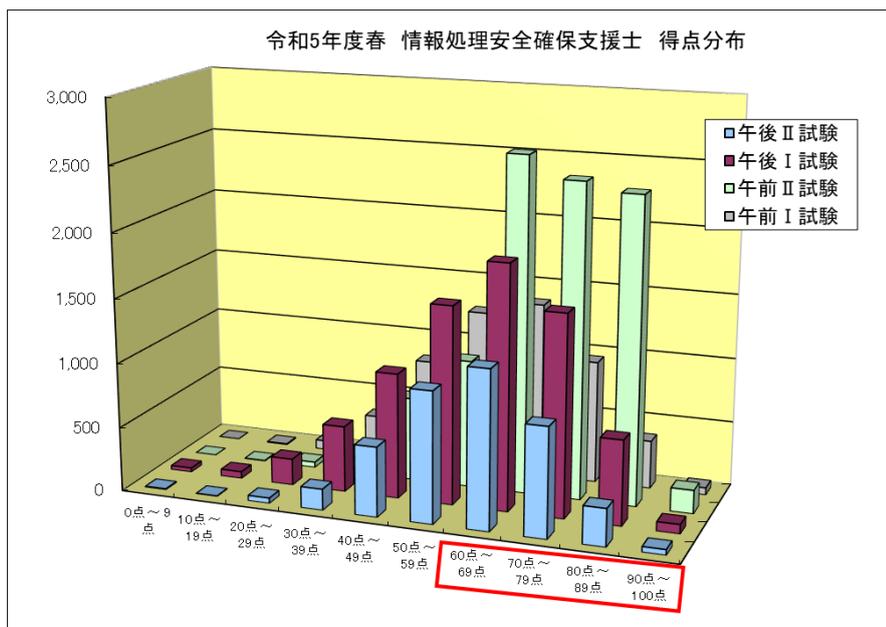
平成29年春期から始まった情報処理安全確保支援士試験（旧情報セキュリティスペシャリスト試験）の今回（令和5年春）の合格率は19.7%で、前回の21.1%から少し下がりましたが、平成21年以降実施されてきた試験の中では高い方の合格率です。

発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

〔令和5年度春期 情報処理安全確保支援士試験 スコア分布〕

| 得点         | 午前Ⅰ試験 | 午前Ⅱ試験  | 午後Ⅰ試験 | 午後Ⅱ試験 | 合格者   |
|------------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 0点～9点      | 0     | 0      | 32    | 7     |       |
| 10点～19点    | 7     | 4      | 53    | 4     |       |
| 20点～29点    | 71    | 41     | 206   | 41    |       |
| 30点～39点    | 326   | 164    | 513   | 164   |       |
| 40点～49点    | 821   | 649    | 970   | 540   |       |
| 50点～59点    | 1,257 | 991    | 1,530 | 1,011 |       |
| 60点～69点    | 1,362 | 2,591  | 1,883 | 1,219 |       |
| 70点～79点    | 951   | 2,424  | 1,553 | 843   |       |
| 80点～89点    | 374   | 2,357  | 656   | 290   |       |
| 90点～100点   | 55    | 182    | 72    | 42    |       |
| 計          | 5,224 | 9,403  | 7,468 | 4,161 | 2,394 |
| 対前試験比率     |       | 180.0% | 79.4% | 55.7% | 57.5% |
| 午前Ⅰ免除者（概数） | 6,922 | 57.0%  |       |       |       |

| 合格者数       | 2,394 | 採点者数の割合 | 合格者数との差 |
|------------|-------|---------|---------|
| 午前Ⅰ60点以上合計 | 2,742 | 52.5%   | 348     |
| 午前Ⅱ60点以上合計 | 7,554 | 80.3%   | 5,160   |
| 午後Ⅰ60点以上合計 | 4,164 | 55.8%   | 1,770   |
| 午後Ⅱ60点以上合計 | 2,394 | 57.5%   | 0       |



午前I試験免除対象の人は増える傾向がありますが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で6,922人(57.0%)いて、受験者の半数を超える人が午前IIからの受験となっています。この午前I試験で基準点60点以上取ることができた人は2,742人(受験者の52.5%)で前回とほぼ同じです。なお、50点~59点のあと一歩の人が1,257人(24.1%)もいることから、出題範囲が広い午前I試験対策は早めに計画立てて進める必要があるといえます。

午前II試験で基準点以上の人は7,554人(受験者の80.3%)で、前回の73.0%から増えています。全体に特に難しい問題はなく解きやすかったのが要因と思われます。

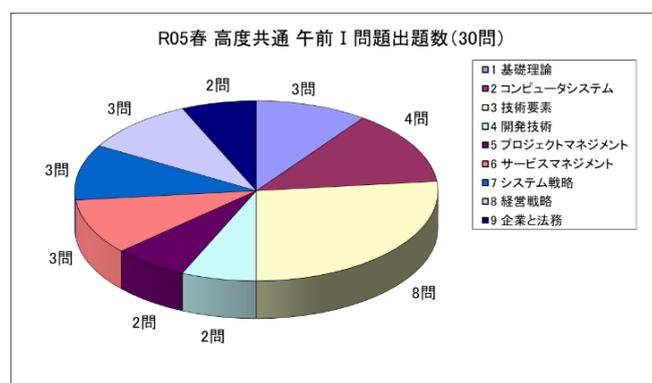
午後Iで基準点(60点)以上取れた人は55.8%で、前回の63.2%から少し下がっています。また、午後IIで基準点(60点)以上取れた人は57.5%で、前回の60.2%からは微減です。

## ■ 令和5年度春期 情報処理安全確保支援士試験の出題内容について

### (午前I試験(高度試験の共通知識問題))

高度試験で共通して出される午前I試験の30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)の午前試験80問の中から選ばれていて、テクノロジー系17問(57%)、マネジメント系5問(17%)、ストラテジ系8問(26%)という出題比率です。

午前I試験には免除制度がありますが、高度試験の4~5割の人が午前I試験から受験しています。この中で60点以上の得点で午前II試験の採点に進む人は5~6割で、出題範囲が広いため試験問題を難しく感じる人が結構多いといえます。問題が難しいときには4割程度の人しか通過できないときもありましたので、最初の試験でつまづかないように、早めに試験対策の学習を始め、確実に知識をつける必要があります。



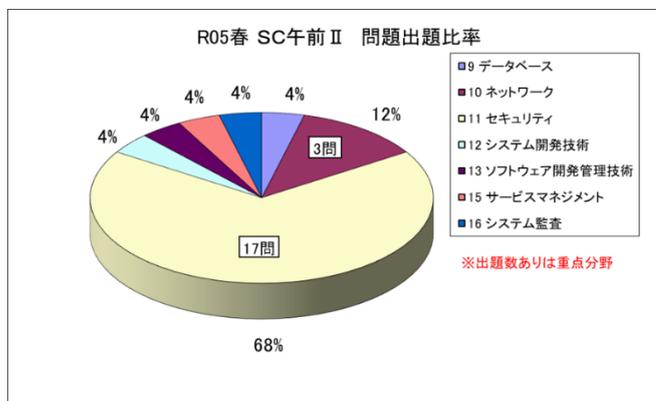
・今回の午前I試験の内容は、定番問題の過去問が多く、前回よりも解きやすいといえました。

- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ4問で、最も多い出題数です。
- ・新傾向問題は3問で前回の6問から減っています。

### 〔午前Ⅱ試験（専門知識問題）〕

午前Ⅱ試験は基本的な問題が多く、セキュリティとネットワークの専門知識の出題数はそれぞれ17問と3問の合計20問で前回と同じです。新傾向問題は7問（前回は6問）、過去問題は従来と同じで約7割ありました。全体として難しい問題は少なかったといえます。

過去の情報処理安全確保支援士試験問題の出題は13問ありました（前回8問から増）が、ネットワークスペシャリスト試験の過去問題は今回ありませんでした（前回6問あった）。



### 〔午後Ⅰ試験〕

今回の午後Ⅰ問題の概要として、問1はセキュアプログラミングの問題でJavaの知識が必要でやや難問題でした。他はWeb関連に偏らず、前回のR4秋試験と同様、バランスの取れた出題内容になっています。各問ごとの設問数は少なめなので、ケアレスミスによる失点に注意する必要があります。

### 〔午後Ⅱ試験〕

今回の午後Ⅱ問題の概要として、問1はWebサイトのセキュリティ全般に関する知識が必要な記述式中心の設問内容でした。問2はクラウドサービスの提供形態と機能拡張に伴い発生するセキュリティ問題を考察するもので、空欄の穴埋め多く解答しやすい形式だったといえます。

## ■より詳細な試験の分析・講評をYoutubeにて限定公開

今回より、詳細な試験の分析・講評をYoutubeにて公開（限定公開）いたします。

試験区分毎に分析・講評動画を作成しております。

お手数ではございますが、以下の手順にて動画をご確認ください。

1. 下記の視聴申込みフォームより、視聴される方の情報を入力ください
2. ご入力送信後、送信完了ページ内にて動画をご覧いただけます

※ご注意ください！

送信完了ページは一度閉じると戻ることができません。

直接リンク・ブックマークからも送信完了ページへ再度訪問することはできません。

Youtube側のURLを控えていただかないと再度フォームに情報を入力することになりますのでご注意ください。

<視聴申込み用フォーム>

<https://www.itec.co.jp/shiken-kohyo/>

<動画の内容について>

動画には主に以下の内容が収録されています。

- ・試験区分毎のトピックスや最新情報、試験制度などの概要
- ・直近試験の出題内容における新傾向問題や出題傾向、解答の流れを分析した解説
- ・次回試験に向けた対策とそのおすすめのアイテック教材のご紹介

さらに、試験区分によっては講師が実際に受験してみた感想もご紹介しております。  
継続的な学習や今後の試験対策に是非お役立てください。



